

## アンリツの文化、アンリツらしさ

アンリツグループは現在まで、社会の基盤である情報通信の分野と、生活の基盤である食品・医薬品の分野において社会課題を解決してきました。経営理念と事業活動に連動したCSR経営を実践し、アンリツらしい強みに磨きをかけ、長い歴史を重ねています。さらに、現状に満足することなく、新たなブランドステートメントを策定し、進化を続けています。

### ■ 経営理念

経営理念として、「誠と和と意欲をもって、“オリジナル&ハイレベル”な商品とサービスを提供し、安全・安心で豊かなグローバル社会に貢献する」ことを掲げています。

「誠と和と意欲」とは、あらゆる取り組みにおいて誠心誠意を尽くし、関係者との和を大切にし、社会的責任を果たすために意欲的に行動することを指します。こうした価値観はすべてのアンリツグループで働く人々に共有され、その行動のよりどころとなっています。

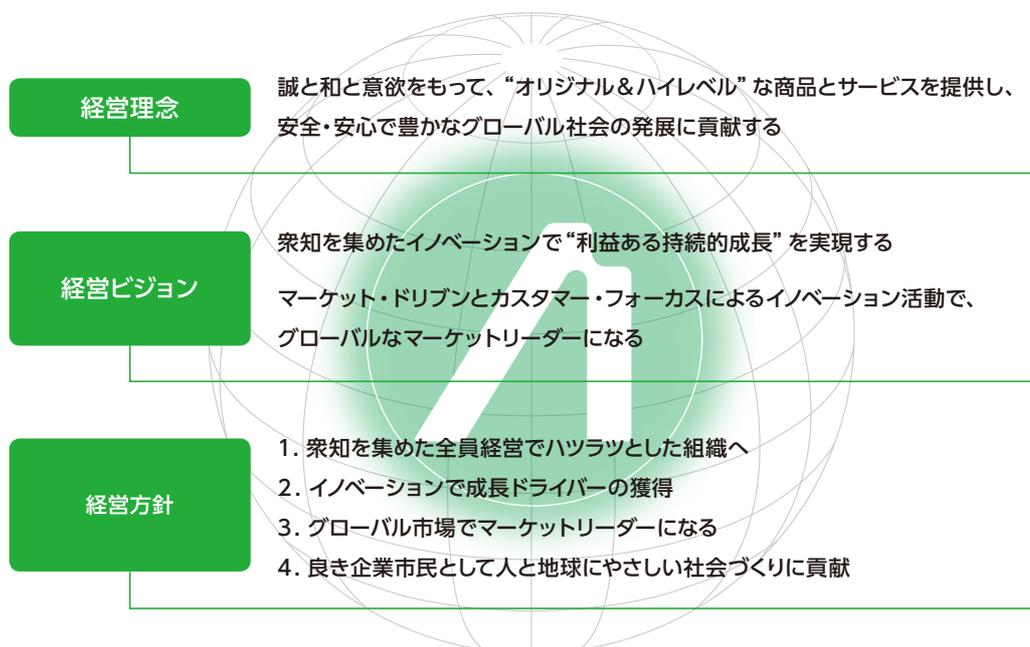
“オリジナル&ハイレベル”とは、常に時代の最先端でアンリツ独自の商品とサービスをグローバルに提供することで、お客さまをはじめとするすべてのステークホルダーから揺るぎない信頼を得ることを意味します。

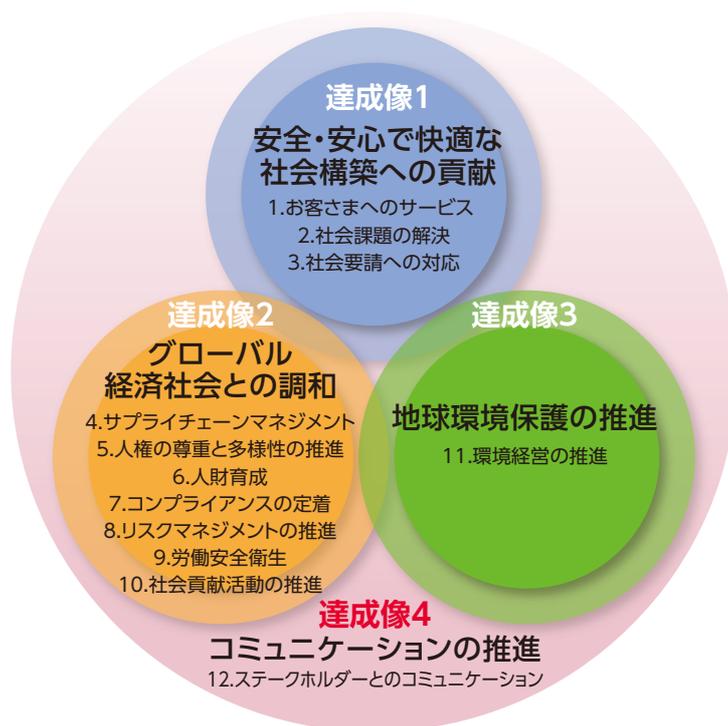
これらの意識をグローバルに浸透させ、成長を続けてきたことが、アンリツの119年の歴史を支えています。

### ■ CSR経営

CSR経営の根幹として「五方よし」を提唱しています。五方は、「売り手」、「働き手」、「買い手」、「世間」、「自然」を指しており、企業を取り巻くステークホルダーをあらわしています。アンリツグループは、あらゆるステークホルダーの皆さまに積極的な情報開示を進めるとともに、コミュニケーションを通して、人と社会、自然が調和した持続可能な社会づくりの一翼を担います。

アンリツグループはこれらが実現した姿として4つのCSR達成像を掲げ、事業活動と連動したグローバルでのCSR経営を実践していきます。





## ■ アンリツらしさの再設定

グローバル・マーケット・リーダーにふさわしいアンリツブランドの構築を目指すため、新たなブランドステートメントである“envision : ensure”を策定しました。

envisionには、お客さまと夢を共有し、具体的なものを創出するという意味を含めています。ensureには、お客さまに高い付加価値を確実に提供し、お客さまとの強い信頼関係を築くとともにビジョンを実現していくという意味があります。この2つをつなぐコロンの「:」で左右が等しいことをあらわすとともに、相互に影響しあうことを表現し、「夢」＝「確かなものにする」というサイクルが常に回っていることをあらわしています。

社会や市場、お客さまに期待され、競合他社と差別化できるブランドの構築を目指します。

## ■ 外部評価

アンリツは、世界的なSRIファンドである、イギリスに拠点を置くFTSEグループによる「FTSE4Good Index Series」に選定されました。

また、2つの企業表彰を同時に受賞しました。2013年度、日本国内においては、東京証券取引所より、資本コストを上回る価値向上を目的とした経営を高いレベルで実践していると認められ、「企業価値向上表彰」で優秀賞に選定されました。さらにCSRやコンプライアンスの活動が優れた企業を表彰するIntegrity Award審議会主催の「誠実な企業」賞2014では、優秀賞に選定されています。

アンリツグループはこれらの高い外部評価を励みとして、経営品質に一層の磨きをかけていきます。

**Anritsu**  
envision : ensure



**FTSE4Good**

2014 FTSE4Goodインデックス

## グローバル・バリューチェーン

事業活動の上流から下流に至るまで、強力なバリューチェーン体制がアンリツの事業活動を支えています。取引先さまおよびお客さま、代理店および関係会社の皆さまとともに成長して社会課題の解決に取り組んでいます。これらのバリューチェーンを緊急時でも維持できるよう、BCPの取り組みを着実に強化しています。

### ■ グローバルSCM構築

アンリツは、主力の計測事業の生産拠点を福島県郡山市に置くほか、米国、デンマークの現地法人でも生産を行っています。また、産業機械事業は神奈川県厚木市のほか、タイ、中国(上海)に工場を展開し、海外ビジネスの拡大に向けた地産地消体制を推進しています。

利益創出力の向上を担うSCMにおいては、コストダウ



ン、品質、納期、棚卸の4項目を主要なKPI(重要業績評価指標)として、パートナー企業や関係部門との協力関係のもと、継続的な改善に取り組んでいます。

また、資材調達関連部門ではGlobal Supply Chain Committee(GSCC)を組織し、日米欧中の4拠点が連携したサプライチェーン構築を推進するとともに、グローバルで協働可能な取引先さまを、グローバル推奨サプライヤ(Global Preferred Supplier)として相互認定し、取引先さまと開発ロードマップや技術的課題を共有することで、製品開発のTTMを実現していきます。

### ■ CSR調達

サプライチェーン全体でCSRを推進するためには、取引先さまと一体となった取り組みが必要と考えています。社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)の「サプライチェーンCSR推進ガイドブック」に準拠して「CSR調達ガイドライン」を制定後、ホームページに公開し取引先さまにもCSRへの取り組みを要請しています。また、CSR調達アンケートや監査を通じて、取引先さまのCSR活動を継続して支援しています。環境対応を含めたすべての法改正に対応するため、説明会の開催を通じて情報の共有を図っています。

また、2012年の米国金融規制改革法1502条(いわゆる紛争鉱物規制)の最終規則採択を受け、アンリツでは、趣旨への賛同を表明し、社内ワーキンググループを構成してサプライチェーンへの対応を図り、取引先さまに対しても説明会を開催し周知活動を行っています。



## ■ 輸出管理

アンリツは、国際社会における平和と安全の維持に貢献するため、アンリツの製品や最先端の技術などが、大量破壊兵器の開発を行っている国家やテロリスト(非国家主体)の手に渡らないよう、輸出管理の取り組みを強化しています。輸出入管理委員会を中心とする体制のもと、関連する国内外の法令等の遵守はもちろん、安全保障輸出管理規程(コンプライアンス・プログラム)や特定輸出管理規程などの社内規程に基づき、厳格な輸出管理手続きを行っています。

また、経済産業省から特別一般包括許可証を取得しているほか、横浜税関から特定輸出者の認定を受けており、アンリツの輸出管理体制が高く評価されるとともに、円滑な輸出の実現という実益も得ています。

今後も、国際的な安全保障の実現に寄与するとともに、国際物流のさらなる円滑化のために、コンプライアンス・プログラムやリスクマネジメントの継続的な改善・強化を図っていきます。

## ■ 腐敗防止

ビジネスをグローバルに展開するアンリツグループにとって、贈収賄など腐敗を防止することはコンプライアンス上の重要な課題と認識しており、社会要請に適應した健全で誠実な企業行動を推進するため、腐敗防止に取り組んでいます。特に米国や英国で制定された贈賄防止に関する法律は、違反した場合に、巨額な罰金を科せられ、また、自国内にとどまらず、いわゆる域外適用が規定されており、大変厳しい法律となっています。

アンリツグループは既に行動規範の中で、贈収賄の禁止を謳っていますが、一層の徹底と意識を定着させるために、2012年に「アンリツグループ贈賄防止方針」を制定し、国内・海外のアンリツグループ内へ贈賄禁止の周知徹底を行いました。

## ■ BCP

メーカーにとって、生産資材の安定調達はBCPの根幹です。地震などの自然災害を想定し、災害発生後になすべきことを具体的にプロセスごとに明確化しています。

その一環として、既存の郡山事業所と生産ラインを分散し、安定供給を図るため、2013年7月から郡山第二事業所の稼働を開始しました。

また、厚木サイトでは、研究開発機能を高めるために本社機能とR&D機能を担うグローバル本社棟を建設中です。最先端の免震技術を投入し、地震災害に強い建物となっています。

商品の安定供給を維持するため、サプライチェーンのBCP体制は海外拠点も含め、取引先さまの拠点データを収集し構築されています。また、情報セキュリティシステムの面では遠隔のデータセンターの利用などBCPの体制を構築しています。



郡山第二事業所

## 強さの源泉

アンリツの強さの源泉は、オリジナル&ハイレベルな技術力と、お客さまとの確固たるパートナーシップです。グローバルな拠点で、研究開発とサポートの体制を構築し、お客さまにソリューションを提供します。これからもお客さまとともに歩むために、持てる技術を最大限に活用し、新たな領域での価値の創造に挑んでいます。

### ■ パートナーシップ

お客さまとのパートナーシップをアンリツの成長の源泉と位置づけています。

設計の初期段階からお客さまに密着し、ニーズに合った製品をオーダーメイドで作り上げ、納入後も規格更新の対応などのサポートを継続します。オリジナル&ハイレベルな技術と誠実な対応をもとに、長期間にわたって信頼関係を築き上げ、お客さまが思い描く中長期的な開発のロードマップを共有し、ともに価値を創造していきます。

### ■ 技術

国内拠点にとどまらず、海外拠点においても開発やお客さまサポートの体制を強化し、技術力の向上に取り組んでいます。

スマートフォンの通信の接続性を確かめる計測器の需要が旺盛な北米を中心に、体制を強化しました。また、先端技術の獲得・活用が競争優位を左右する当社のビジネスにおいて、知的財産戦略は事業戦略の中で極めて重要

な位置づけを担っています。知的財産部門と開発部門が密接に連携し、研究開発成果の権利化をグローバルに推進するとともに、事業戦略や技術戦略との整合を見据えた知的財産ポートフォリオの最適化を図っています。

### ■ 事業創発

2020 VISIONでは事業創発で新事業を生み出すことを目標に掲げ、技術を活かした新たな領域での社会課題の解決に取り組んでいます。

アンリツは、情報通信や映像監視、食品、医薬品などのさまざまな分野で、長年培った技術力を発揮しています。これらの技術を応用して、グローバル規模の社会課題の解決に貢献するとともに、2020年に向けて新たな事業の柱を育てることを目指しています。そのため、社内プロジェクトチームを中心に、マーケティングとイノベーションを両輪とし、価値を創造する取り組みを強化しています。



## 環境への配慮

アンリツは、環境に配慮した製品の開発と生産を追求し、人と自然が共存できる豊かな社会づくりに貢献します。商品のライフサイクル全体を見据えた環境経営をグローバルに推進しています。

### ■ アンリツの環境経営

アンリツはグローバルに環境経営を展開し、『エコマネジメント』と、一人ひとりの『エコマインド』で、『エコオフィス』『エコファクトリー』『エコプロダクツ』の実現に向けた取り組みをさらに進めています。ライフサイクルシンキングによるグローバル環境経営を推進するアンリツグループでは、製品のライフサイクル全体を見据えた環境配慮型製品の開発とグローバル全拠点における環境影響の把握・改善という両面から環境負荷低減を目指しています。

#### ● 調達

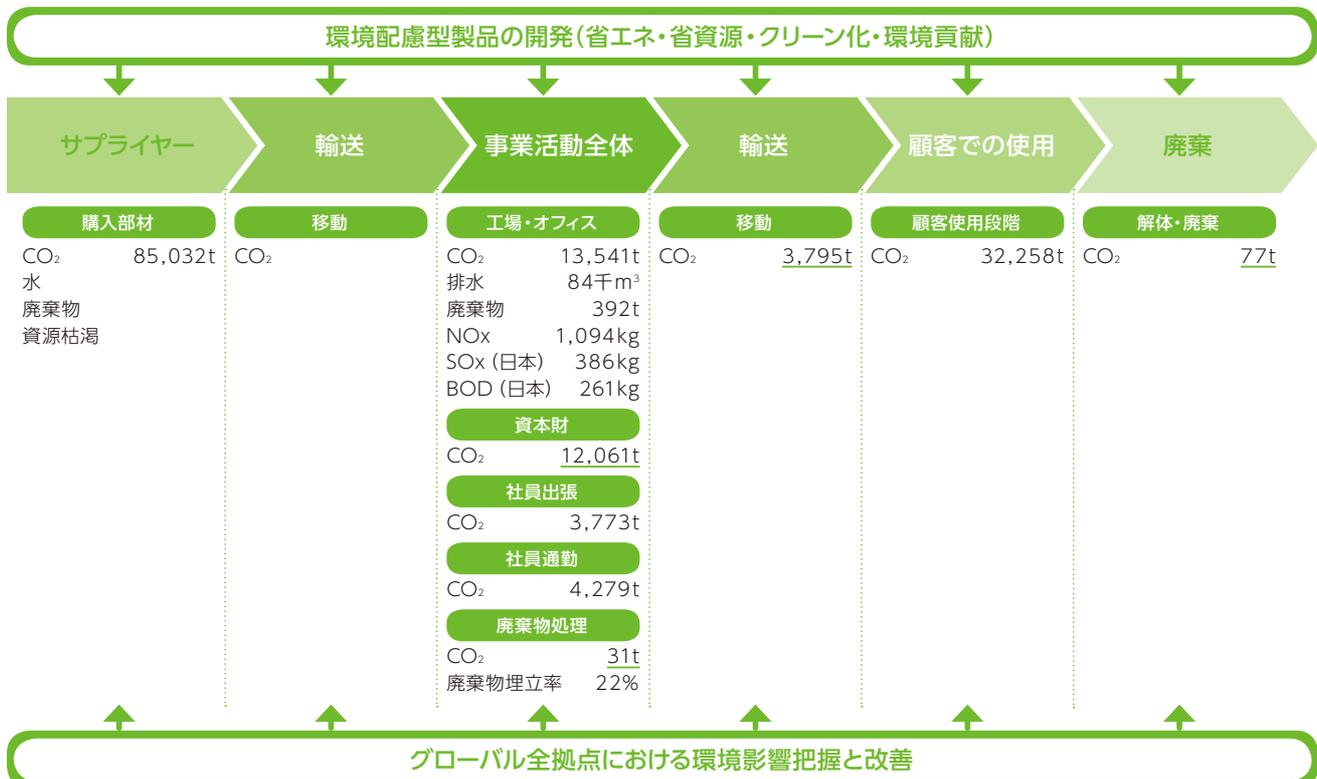
CSR調達を推進しているほか、環境に配慮した製品づくりを取引先さまとともに推進するために、1999年6月に「グリーン調達ガイドライン」を定め、グリーン調達を実施しています。

#### ● 事業活動(エコオフィス・エコファクトリー)

生産時の環境負荷の低減に取り組んでいます。アンリツが消費するエネルギーの95%以上(原油換算比)を占める電力の使用量を削減するため、継続的に省電力に努めるとともに、水の使用量の削減や無害化、化学物質管理、廃棄物の削減に取り組んでいます。

#### ● 製品(エコプロダクツ・リサイクルセンター)

独自技術を活かした取り組みを意欲的に進め、製品環境規制にはグローバルで対応し、すべての開発製品において設計の初期段階から質の高い製品アセスメントを実施しています。また、グローバル製品アセスメントの結果から、エクセレント エコ製品とエコ製品を環境配慮型製品と認定しています。



※1 現時点で把握できている項目については数量を記載し(小数点以下は四捨五入)、把握できない項目については項目名のみ記載しています。

※2 「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン」に準拠し、算出しています。

※3 下線は2012年度と比較して、集計範囲を拡大した項目です。詳細はウェブサイトをご参照ください。URL: <http://www.anritsu.com/ja-JP/About-Anritsu/CSR/environment.aspx>